

☆「11/14中間公開の調査官の先生等からの指導助言・今後の方向性」☆

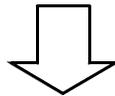
○～成果 ●～課題 ☆ポイント

【授業の様子から（成果）】

- どの学年もすばらしい子どもの姿がたくさん見られた。これまでの積み重ねが感じられた。
→自分とのかかわりの中で学んでいく点で生活・総合は他教科と大きく異なる。
例) 茶碗に入ったお茶→生活科の場合「私のおばあさんが私のために入れてくれたお茶が好きです。」、総合の場合「お茶の産地として、お茶の生産と自分の生き方をどうかかっていくのかを探究していく。」
- ☆生活・総合をとらえる視点として…
総合では教科で学んだことを横断的に活用したり、総合で学んだことが学びの実感として各教科の学習に生かしたりしていく。
- 子どもと教師の関係のよさも見えた。(子どもと教師の間のとり方がよい)
- 学校が「生きている。」→子どもに火を付けている。炎の方向性もそろっている。
- 基礎ができています。次は「鍛える」段階に！

【キーワード】 **実社会・実生活に根ざした・基づいた学習の対象を扱うことが大前提**

- 今回の実践ではそれらがきちんと見えてきた。また、学年間の系統性を図った指導が見られた。強みになっている。今後も継続して進めてほしい。



【今後の研究の方向性】 *当初の研究の計画とは少し異なるが…

☆今回の改訂での生活・総合は教育課程上、どのように大事な役割をしているのか。
具体的には、どのように接続・関連しているのかを周知したい。

具体的には…（生活科だけでしたが…）

1年→**幼児教育とのつながりをふまえた・意識した実践を。**

- ・スタートカリキュラムの取組と実践を踏まえ、小学校の年間（全体）計画の中での位置付けを
- ・他教科と関連させた合科的な単元を構成し、それを実践
* 2月の発表会では、それに向けての準備・これまでの取組を紹介してほしい。

2年→① **2年生の生活科で学んできたことが3年生以降の学習にどうつながっていくか。**

「中学年との接続」を意識した学習活動の展開を

② **思考力の育成を重視した実践への取組を**

見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れ、子どもが思考力している様子をカードに記入させたりして、その後の活動にどうつなげていくのか取り組んでいく。

☆カリキュラムデザイン（生活・総合との関連ver.）をぜひ他校に紹介したい。

【授業の様子から（課題）】

● **めあての提示の仕方**

→子どもが学習活動をつくったり、子どもとともに授業をつくっていくという視点で。

例) 学びの履歴（学習カード・計画表）などをもとにしたり、前時までを振り返ったりして。

● **書く力の向上**

●（複数教員による指導の場合） **指導のより一層の充実**

【次年度の指導案の形式】 *新学習指導要領に合わせて…

例) **単元の目標**は、3つの資質能力をもとにした記載

評価規準は、「思考力、判断力、表現力等の基礎」「知識及び技能の基礎」「学びに向かう力、人間性等」という項目（順番）で

本時のねらいは、「○○○という（学習）活動を通して、□□□という力（資質・能力）を身に付け、△△△に気付いていく（を工夫していく）」*3つは必ず入れなくてもよいが…

本時の学習活動は、①「学習活動」と「予想される子どもの姿」の枠を一つにまとめる。

①「めあて」に記載する言葉の意味（イメージ）を教師側が具体的にもちそれが本時の中で子どもの発言や活動の中でどういうもので具体的に表れるのか、具体例を挙げるなど、教師側は説明できること。

例) 「くふう」や「だいすき」、「すてき」、「よさ」など

今回の指導案を、新しい形式（書式）で改めて作成してみて、指導を仰ぐ。

*総合の場合は、さらに「知識及び技能（の概念）」をどう記載するか・位置付けるかがポイント。

【その他】

●子どもの変容を的確に把握するために、「**アンケートを適宜実施し、データの積み重ねを**」また、データの分析の仕方・とらえ方を見直す。

●「**言葉で思考する**」ことを大切に。

●「**話し合い**」を「**学び合い**」に高めること

*学習院大学の佐藤学先生によると、「話し合いは分かったことの交流、学び合いは分からないことの探究」だそうです。となると、総合自体が「学び合い」ということになりますが、話し合いを通じて、学び合う姿が見せられれば最高。

●**新学習指導要領の熟読**を

~~~~~  
以上のような指導助言等には、「**明日からでもすぐに取り組むこと**」・「**3月までの年度中に取り組むこと**」があります。これらの取組を通して、日頃の学習や生活の中で子どもの様々な力を高めていったり、授業等を通して実践していったり、そして新学習指導要領の実施に向けて、他校にいろいろな形のものを提案していったりすることが求められているようです。